

News Release



(別添)

2020年6月25日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

エアコンの内部洗浄による事故に注意 ～製造から長期間経過した換気扇・扇風機にも注意～ ～ 東海4県版 ～

6月も下旬となり気温が上がって、エアコン^{※1}を使う機会が増えてきました。毎年7月はエアコンの火災事故が多く発生します。特に今年は新型コロナウイルスの影響で外出を控え、自宅で過ごす時間も増えると予想され、例年に比して使用時間の増加が見込まれます。

NITE (ナイト) が収集したエアコンや換気扇・扇風機による事故情報は、東海地方4県 (静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県) では、2015年度～2019年度までの5年間に合計63件^{※2} (エアコン38件、換気扇・扇風機25件) あり、被害状況は死亡2件、重傷2件などとなっています。事故の多くは火災に至り、5年間で57件 (エアコン35件、換気扇・扇風機22件) 報告されています。

新型コロナウイルスの影響で、身の回りのものを清潔に保とうとする機運が高まっており、エアコンの内部洗浄を自ら行おうとする方が増えることが予測されます。しかし、内部洗浄方法を誤ると、危険な事故に至るおそれがあるため、エアコンの内部洗浄について注意喚起を行います。

また、ウイルスの感染予防には室内の換気が必要とされるため、エアコンの使用のみならず、換気扇や扇風機^{※3}の使用も同様に増加すると考えられます。換気扇・扇風機において、製造から長期間経過している製品は内部部品の劣化により発火するおそれがあります。使用開始前における注意事項を確認し、異常があれば直ちに使用を中止し、事故を未然に防ぎましょう。また、リコール対象製品による事故も発生しているため、お持ちの製品がリコール対象か否かを確認してください。

(※1) ルームエアコン (室外機、室内機)。

(※2) 2020年4月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) ファンの見えないものやサーキュレーターを含む。USB接続の扇風機は含まない。

エアコンや換気扇・扇風機による製品事故の発生状況**(1) 東海 4 県の年度別 事故発生件数**

表 1 にエアコン、表 2 に換気扇・扇風機による製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表 1 エアコン「県別」及び「年度別」の事故発生件数（単位：件）※4

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2015年度	1 (1)	3 (3)	2 (2)	0	6 (6)
2016年度	4 (4)	4 (2)	1 (1)	1 (1)	10 (8)
2017年度	2 (2)	1 (1)	1 (1)	0	4 (4)
2018年度	0	4 (4)	2 (2)	1 (1)	7 (7)
2019年度	3 (3)	7 (6)	1 (1)	0	11 (10)
合計	10 (10)	19 (16)	7 (7)	2 (2)	38 (35)

表 2 換気扇・扇風機「県別」及び「年度別」の事故発生件数（単位：件）※4

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2015年度	0	3 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (3)
2016年度	0	2 (2)	2 (2)	0	4 (4)
2017年度	1 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	6 (5)
2018年度	3 (3)	6 (6)	0	0	9 (9)
2019年度	1 (1)	0	0	0	1 (1)
合計	5 (5)	13 (10)	4 (4)	3 (3)	25 (22)

(※4) ()は火災件数。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 3 にエアコン、表 4 に換気扇・扇風機による製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※5}」の事故発生件数を示します。

表 3 エアコン「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※4}

被害状況 ^{※5}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	重傷	0	2	0	0	2
	軽傷	0	1 (1)	0	0	1 (1)
物的被害	拡大被害	8 (8)	12 (12)	6 (6)	2 (2)	28 (28)
	製品破損	2 (2)	3 (2)	1 (1)	0	6 (5)
合計		10 (10)	19 (16)	7 (7)	2 (2)	38 (35)

表 4 換気扇・扇風機「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※4}

被害状況 ^{※5}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	1 (1)	0	1 (1)
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	3 (2)	0	1 (1)	4 (3)
物的被害	拡大被害	5 (5)	8 (8)	3 (3)	2 (2)	18 (18)
	製品破損	0	2	0	0	2
合計		5 (5)	13 (10)	4 (4)	3 (3)	25 (22)

(※5) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている

(3) 東海4県のエアコンによる年度別及び月別 事故発生件数

図1にエアコンによる製品事故の「年度別」の事故発生件数を示します。図2にエアコンによる製品事故の「月別」の事故発生件数を示します。エアコンは、6月～8月に事故が多く発生しています。

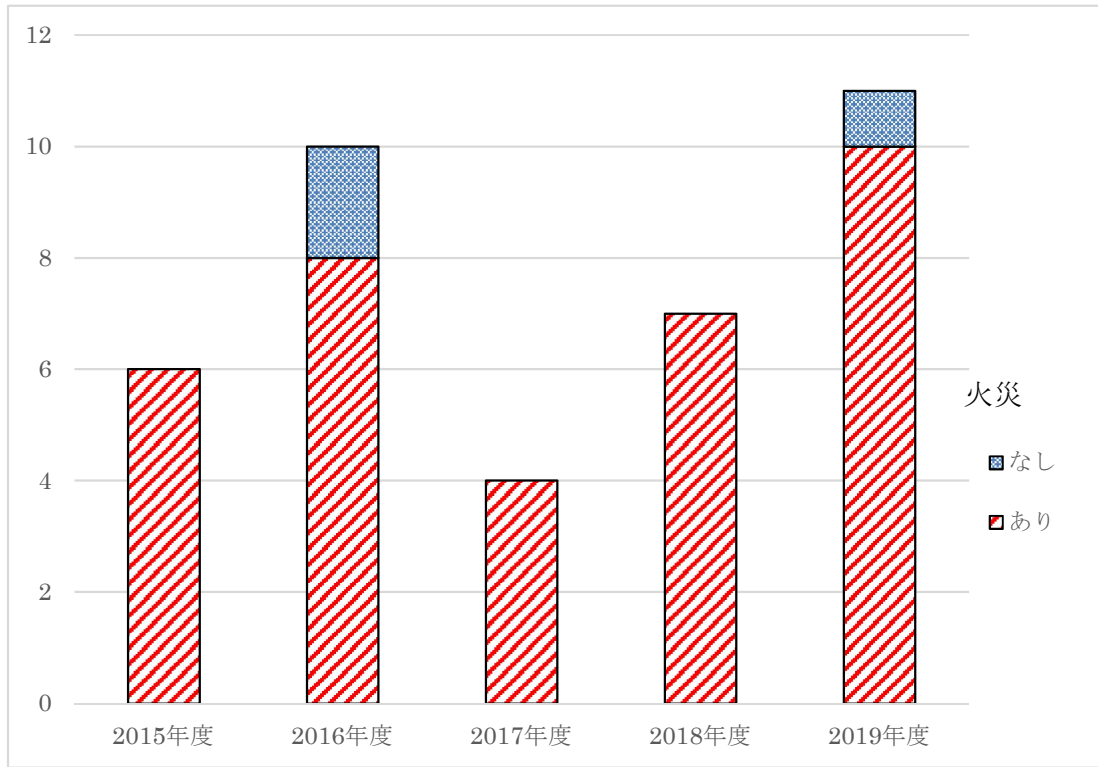


図1 エアコンの年度別 事故発生件数

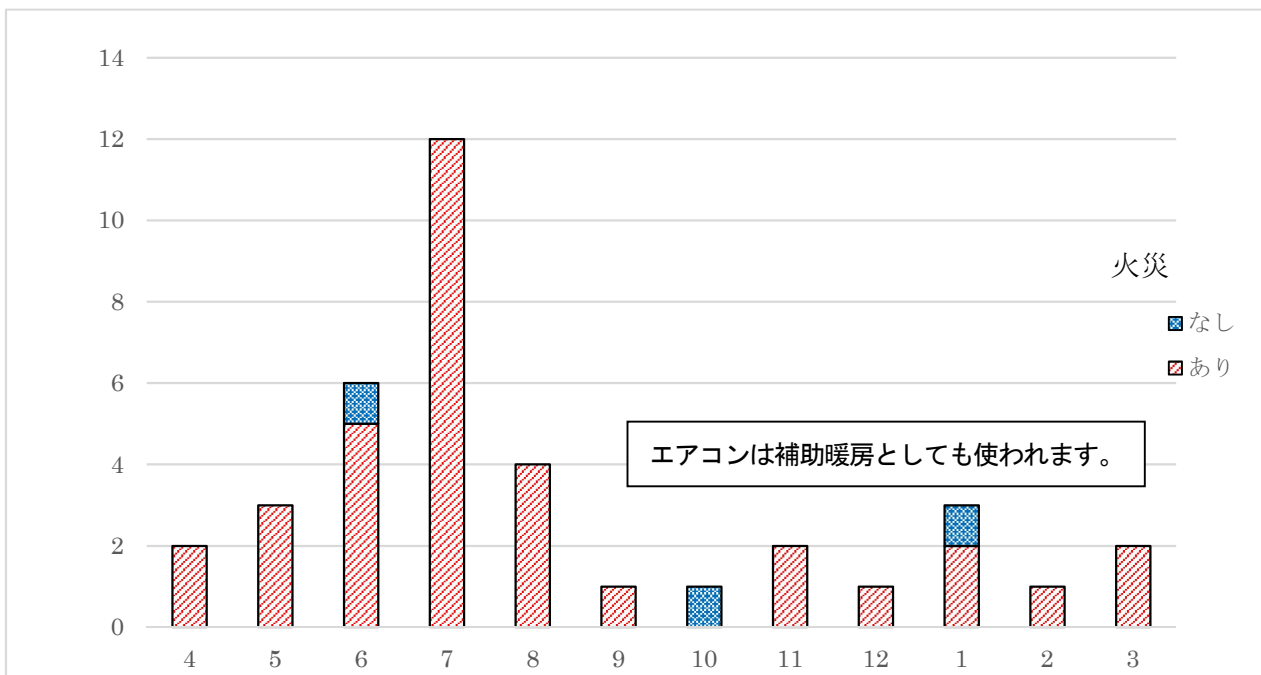


図2 エアコンの月別 事故発生件数

1. エアコンや換気扇・扇風機による製品事故の事故事例

(1) エアコン

洗浄液の付着によりトラッキング^{※6}が発生し、内部部品を焼損した。

2016年7月（静岡県、年代不明・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

宿泊施設でエアコン及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

不適切な洗浄により洗浄液がファンモーターのコネクタ一部に付着し、端子間でトラッキング現象が生じたため出火に至ったものと推定される。

(※6) 付着したほこりや水分によりトラック（電気の通り道）が生成され、異常発熱する現象



写真 エアコンの再現実験写真

(2) 換気扇^{※7}・扇風機

長期使用により、コンデンサーの絶縁性が劣化し、内部短絡が生じて火災に至った。

2015年8月（三重県、年代不明・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

扇風機を使用中、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

扇風機は、長期使用（41年以上）により、コンデンサーの絶縁性が劣化し、短絡・スパークが生じて出火に至ったものと推定される。

(※7) 換気扇による製品事故の事故事例は、本部資料をご確認願います。



写真 換気扇・扇風機の再現実験写真

3. エアコンや換気扇・扇風機による製品事故の実験映像について

エアコンや換気扇・扇風機による製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 宮川 七重

担当者：横田、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515